



## 第4次川口市総合計画の策定について

第4次川口市総合計画につきましては、昨年、総合計画審議会において、本市の都市づくりのビジョンである基本構想案の審議を重ね、10月までに一通り審議を終了しました。この基本構想では、将来都市像の実現に向けた不断の取組みは、なお必要であることなどから、将来都市像を「緑 うるおい人 生き活き 新産業文化都市 川口」とし、第3次総合計画を踏襲することとしております。

また、この計画期間については、現行の10年間を平成22年4月から平成34年3月までの12年間とし、前期、後期それぞれ6年間に分け基本計画を策定することになります。

現在、前期基本計画の原案作成に取り組んでいるところですが、策定にあたっては将来都市像実現のため必要な施策を体系的に定め、市民の皆様にとってわかりやすいものとなるよう配慮しているとの事であります。

ご案内のとおり今の時代は、社会経済情勢の変化が激しく、不確実な要因もあり、確固たる将来計画を描くことはなかなか難しい面もありますが、市民の声や意見も取り入れた川口市に相応しい総合計画を策定して頂きたいと願うものであります。



## SKIPシティ国際Dシネマ映画祭2009について



この映画祭も今年で6年目を迎えることとなりました。本年度は、SKIPシティの映像ホールをメイン会場として、7月10日から20日までの11日間にわたって開催する予定であり、ご来場の皆さんに、コンペティション作品や招待作品をとおしてデジタル映像の多彩な魅力をご堪能いただけるよう鋭意準備を進めているとの事であります。

今回のコンペティションには、77の国と地域から1004作品といずれも昨年を上回る応募があり、

本映画祭に対する国際的な認知度、注目度の高まりを感じさせる結果となりました。

また、今回から国内作品にとって狭き門であった長編部門において、カテゴリーを海外作品と国内作品の2つに分けたことにより、国内作品がより多くノミネートされることになり、国内のクリエーターが躍進する機会が広がることになりました。更にSKIPシティで映像制作を無償でできる特典を付与する「SKIPシティアワード」を設ける事にもなっております。

今後も、本映画祭が日本を代表する映画祭となり、映像クリエーターの発掘・育成及び映像関連産業の振興につながる事を望むものであります。